

特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」 フットソフトボール競技実施要領

1 競技規則

令和5年（2023）度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム

- (1) チームの構成は、監督1名、コーチ2名以内及び登録選手15名以内（男女は問わない。）とする。
- (2) 監督及びコーチが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合の選手人数は、選手を兼ねる監督及びコーチを含め15名以内とする。

3 競技方法

- (1) 試合はトーナメント方式とし、3位決定戦及び交流戦を実施する。
- (2) 試合は7回までとし、試合開始後60分を経過した後は、新しい回に入らない。
- (3) 指名選手（DP）及び再出場（リエントリー）を採用する。
- (4) 同点の場合は、タイブレークにより試合を延長しておこなう。ただし、延長は2回を限度とし、それでも同点の場合は、最終回に出場していたプレイヤーによる抽選によって勝敗を決める。
- (5) 抽選方法は主管競技団体が定めた方法に添い、最終回に出場していた選手9名の打順で抽選を行う。なお、監督会議にて実施方法を確認する。
- (6) 3回終了以降20点以上の差が生じたときは、得点差コールドゲームとする。また、降雨等の事情により試合の継続が不可能と判断され、コールドゲームとなった場合は、3回以上の回を終了していれば、正式の試合と認める。（決勝戦を含む）

4 服装等

- (1) 同一チームの監督、コーチ及び選手は、同色・同意匠のユニフォームを着用しなければならない。ただし、選手がショートパンツを着用するチームの監督及びコーチについては、上衣は同色・同意匠でなければならないが、下衣については、監督及びコーチのみで統一された、別のものを着用してもよい。また、男子は同じ帽子を着用しなければならない。
- (2) ユニフォームナンバーは、背中と胸下につけなければならない。監督は30番、コーチは31・32番、主将は10番とし、他の選手は1番99番までの番号とする。数字の大きさは、背中は15cm以上、胸は6cm～12cmとする。ユニフォームの背中はユニフォームナンバーと個人名・チーム名のみとする。個人名・チーム名をつけるときは、ユニフォームナンバーの上部に全員がつけること（個人名はローマ字表記のみとする）。また、ユニフォームの左袖に、都道府県・指定都市名を表示すること。

- (3) 靴は、運動靴又は金属製以外のスパイクとする。
- (4) 危険防止のため手袋を用意してよい。ただし、投手は、ボール以外の色でなければならない。

5 試合球

試合球はサッカーボール（ゴム製4号球）とし、主催者が用意する。

6 組合せ

組合せは、令和5年7～8月に開催するプログラム編成会議において、主催者が関係者立会いの下に代理抽選の上、決定する。

7 打順表等

- (1) 打順表は、試合開始時刻30分前までに5部作成し、各球場の競技本部へ提出する。ただし、第1試合は、開始式終了後に提出すること。
なお、打順表は監督会議において競技本部から配布する。
- (2) 攻守順の決定は、監督及び主将の立会いのもと、球審のコインのトスによって決定する。

8 開始式・表彰式

- (1) 開始式は、競技開始前に競技会場で行う。
- (2) 表彰式は、競技終了後に競技会場で行う。
※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施の有無及び実施方法を変更することがある。

9 その他

- (1) 令和5（2023）年10月27日（金）に監督会議を行う。なお、監督会議の時間及び場所については別途通知する。
- (2) ベンチは、組合せ表の番号が若いチームを1塁側とする。
- (3) ベンチ内へは、選手、監督、コーチ以外は入場することができない。ただし、チームスタッフ3名とは別にトレーナーを帯同しているチームは、1名ベンチに入ることができる。なお、トレーナーは参加申込時に登録した者に限る。このトレーナーは、実際に施術ができる者とし、公認パラスポーツトレーナーの有資格者であることが望ましい。
- (4) 競技場内へは、主催者の許可を受けたもの以外は立ち入ることができない。
- (5) 練習場所については、主催者からの指示に従うものとする。
- (6) 練習球は、各チームが用意する。
- (7) 少雨の場合は決行するが、荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。